

薬連ハイライト

第26回参議院議員通常選挙を終えて

藤井基之参議院議員、本田顕子参議院議員、7月10日の参議院議員選挙で当選した神谷政幸氏が日本薬剤師連盟の役員会へ挨拶にお越し下さった。正式には、藤井先生の任期は7月25日までであり、神谷氏の参議院議員としての任期は7月26日から始まる。藤井先生はいつになく笑顔が絶えない。令和元年7月に本田参議院議員が当選し、組織内を代表する国会議員2名体制が実現し、これを引き継ぐ神谷氏の当選に安堵した思いが伝わってくる。本田参議院議員も弟のような神谷氏の当選を受けて2名体制が維持されることになり、笑顔の中にも厳しい視線を感じる。電子処方箋、敷地内薬局、新型コロナウイルス感染症対策、医薬品流通問題と課題は尽きない。

神谷氏の力強い抱負に役員も期待を寄せた。

藤井基之参議院議員は、議員勇退後も東京に事務所を構える。3期18年のご苦勞に一同感謝の拍手を送った。



祝！8月12日、本田顕子参議院議員が厚生労働大臣政務官兼内閣府大臣政務官に就任！

オレンジ日記

来年度予算案の編成に向けて

厚生労働大臣政務官
兼内閣府大臣政務官
参議院議員・薬剤師
本田 顕子



猛暑の中で行われた第26回参議院議員通常選挙が終わり、8月3日から臨時国会が召集されました。

選挙が終わり、議員の事務所となる参議院議員会館には、議員を辞された方の退室と、新しい議員の入室が慌ただしく行われました。私たち薬剤師にとっては、薬剤師・神谷まさゆき参議院議員の誕生を嬉しくお迎えました。

さて、国会が動き出すに当たり、党内の勉強会も再稼働です。来年度予算の概算要求に当たっては、7月27日に党本部で開催された政調全体会議において「骨太方針2022に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進する」としながらも、重要な選択肢を狭めることがあってはならない、と明記されました。7月29日の閣議決定の後、各省庁から8月末日までに予算の要望が出されます。

私たちにとって一番気になり、また政府としても予算規模的に見て一番大きい年金・医療について、どのような予算付けになるか注視していかなければなりません。7月27日には、日本薬剤師会の要望をお聞かせいただきました。予算に関する要望としては、電子処方箋など薬局におけるデジタル化への対応に関する財政支援と生涯学習の推進等をお聞きしました。しっかり読み込み、今後の発言に活かしてまいります。

政幸だより

初登院

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



8月3日(水)、臨時国会が召集され、初登院を果たしました。

令和2年3月の日本薬剤師連盟の定時評議員会において組織内統一候補として決定いただいてから2年4ヵ月、コロナ禍という大変厳しい状況下での全国訪問活動を経て議員バッジを付けることが出来ました。全国の薬剤師連盟の皆様のご支援とご協力に対して改めて感謝の思いをお伝えしたいと思います。

7月15日(金)には、中央選挙管理委員会委員長名の当選証書と議員バッジを受け取り、19日(火)には、参議院自民党主催の新議員説明会が開催され出席しました。そして26日(火)から参議院議員の任期が始まり、8月3日(水)に初登院、そして国会対策委員会、議員総会、本会議(議席の指定等)に出席し、両院議員総会、本会議(会期の決定)と続き、最後に天皇陛下をお迎えしての開会式という日程をこなしました。

3年前、本田顕子先生が第25回参議院議員通常選挙において当選され、組織を代表する国会議員2人体制が実現しました。日本薬剤師連盟におかれては、長年の夢が叶ったとお聞きし、藤井基之先生が勇退を決意された状況の中で、2人体制を堅持することが私に課された最大の役割だと自覚し、夢中で走ってきた2年4ヵ月でした。その役割を何とか果たせたという思いを噛み締めた初登院でした。

参議院議員会館の事務所は藤井先生と同じ部屋となりました。

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 1218号室
電話：03-6550-1218 FAX：03-6551-1218